

Stand UP! NO.54

2017年6月15日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

夏季手当妥結!!

会社経営陣はどこを見て経営しているのか!?

JR貨物労組は本日、2017年度夏季手当の最終交渉を行い「基準内賃金×1.6カ月」で妥結しました。

青年部では、常態化する要員不足の中でも過去最高の経常利益、鉄道事業部門の黒字化を達成できたのは青年部員の努力の成果であることを訴えてきました。しかし、「鉄事が黒字になったら分かち合いましょう」「手当は期待して下さい」と煽っておきながら私たちの努力と奮闘を踏みにじり、『今年度21億円の努力目標があるから厳しい』との回答をしました。

青年部員の職場からの闘いにより『昨年実績並み』の考えから1.6カ月まで押し上げる事が出来ましたが、到底納得できる結果ではありません。経営陣は身を削る事も無く、私たち青年部員に努力目標21億円を押し付ける姿勢は断じて認める事は出来ません。

経営陣よ、ふざけるな!! 職場の現実を直視しろ(怒)

会社がかむしゃらに鉄事の黒字を追求した結果、JR貨物を去って行った青年部員が数多くいます。業務量の増加で体調を崩し休職に追い込まれる青年部員もいます。我々のモチベーションは1.6カ月なんかであがるわけがない!!

計画が厳しいと言うが職場はそれ以上に厳しい状況だ!!

この会社で将来も安心して働いていくために、職場に責任を押し付けるだけの経営姿勢を全青年部員で質していこう!!

**経営姿勢を何としても質すために
青年部組織をより強固なものにしていくぞ!!**